

令和5年11月議会が11月20日～12月13日まで会期24日間で開かれました。志政会からは小山悟議員が代表質問を行い、産業振興、清水のまちづくり、スポーツ振興、安定した市政運営等について問い質しました。また、児嶋喜彦議員が個人質問を行いました。



本市の強みを活かした産業振興について

本市では、様々な産業が営まれていること自体が特徴ですが、とりわけ製造業いわゆる「ものづくり産業」については、市内に根付いていることは大きな強みです。

Q 本市の産業の強みを生かしていくためにどのように取組を進めていこうとしていますか。

A (市長答弁) 電気機械器具製造業の付加価値額は全国平均と比べ大きな割合であり、本市産業の特徴・強みです。また本市は、京浜・中京大都市圏の中間点に位置し、立地的優位性が高いことは大きなメリットであるといえます。しかし、企業用地として活用しにくい状況にあることから、「静岡市企業立地推進プロジェクトチーム」を立ち上げ、「企業立地総合サポート窓口」を設け、企業立地が実現するまで徹底した伴奏支援を行うこととしました。

地域の産業競争力を高めていくうえで、情報通信分野を伸ばしていくことが重要です。また課題解決のために、DX人材の育成やスタートアップ創出支援事業などを進めていく必要があると考えます。

スポーツ振興について

ハヤテ球団がプロ野球ファームリーグに参加し、清水庵原球場が本拠地となることが正式に決定されました。プロスポーツが静岡にとっても市にとっても有意義なことであり、と考えています。

Q ハヤテ球団のファンの増加に向け、どのように球団と連携していきますか。

A 球団は、まずは認知度向上に向け、地道な活動を実施したいとして、主に3点の取り組みを連携して実施します。

1点目は、選手による学校訪問等の市民との交流機会の創出。2点目は、小中学生のホームゲーム招待等の観戦機会の創出。3点目は、市広報紙での情報発信等の広報・PR支援。球団が地域に根付き、市民に愛される存在となるよう、球団と連携した取り組みを継続して実施していきます。

会計年度任用職員について

Q 会計年度任用職員の処遇改善について、どう取り組んでいきますか。

A 職務経験年数を考慮した給料決定や正規職員と同様の期末手当の支給を導入したほか、民間比較において格差が見られる保育教諭等の職種の給与水準の引上げを行うなど、継続的に処遇改善に取り組んできました。令和5年度の実績としては、最低賃金の改正を踏まえ、民間の給与水準を下回ることがないよう対応しています。

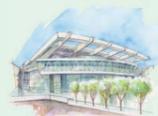
令和6年度に向けた取組としては、6年4月1日から会計年度任用職員に対しても勤勉手当が支給できるとされたことを踏まえ、本市においても6年度から勤勉手当を支給できるよう、6年2月議会に関係議案を上程する予定です。



児嶋喜彦

Q：多目的アリーナの防災機能について、地域住民にしっかり伝えることにより、地域住民の安全安心につながると考えますが、どのような役割を計画していますか。

A：大規模災害時に、アリーナが物資の集積場所、自衛隊等の宿泊場所、観客や周辺施設の帰宅困難となった方々の一時滞在受入れ等の役割を担うことを想定しています。本市において発災時における地元の皆さんへの支援機能として、アリーナにどのような設備が有効であるか、検討が必要であると考えており、今後アリーナを整備することによって、市全体の防災力向上や、地域の皆さまの安全安心につながるよう検討していきます。



志政会 しせいかい だより

令和6年1月発行
第34号
発行/静岡市議会 志政会
編集/志政会 広報部
〒420-8602
静岡市葵区追手町5番1号
TEL 054-254-2111
(内4505)
FAX 054-653-3412

来年度当初予算へ政策提言



志政会は11月15日、難波市長に「令和6年度当初予算への政策提言」を提出しました。これからの静岡市は、厳しい財政状況を踏まえながらも、SDGsの理念を中心に据え、DX・GX・BXなどの推進によって、経営体質の改善や、現状の延長線ではない政策を生み出していかなくてはなりません。

提言書では、特にアセットマネジメントの推進を通じた自治体経営体質の改革や、昨年の台風の教訓を生かした防災対策の強化などを求めました。(以下提言抜粋 政策提言は会派ホームページに掲載しています)

自治体経営体質の改革

(1) SDGs / ESDの推進

・SDGsの理念・ターゲット目標に沿った数値目標(KPI)を設定すること

(2) DX / GX / BXの推進

・「市政変革研究会」を基に行政におけるDX / GX / BXのあり方について検討を進め、具現化の取組を推進すること

DX (デジタルトランスフォーメーション) ... デジタル技術を社会に浸透させて人々の生活をより良いものへと変革すること
GX (グリーントランスフォーメーション) ... クリーンなエネルギーを活用していくための変革
BX (ブルートランスフォーメーション) ... 環境に配慮した持続可能な水産業への変革

(3) アセットマネジメントの推進

・企画・財政・建築の3部門連携によるアセットマネジメントの推進
・「静岡市 PPP / PFI 地域プラットフォーム」を活かした民間提案の積極的な導入と、業務プロセスの見える化の推進

(4) 区役所機能の強化による共創のまちづくりの推進

・区役所の予算配分強化に加え、継続した取組ができるよう、市民との共創を踏まえた中長期的な区構想を策定すること

防災対策の強化

(1) 庁内の防災体制の強化

・初動対応・受援体制の強化、行政サービスの継続など、市民の信頼と早期復旧に向けBCPを基本とした取り組みを行うこと。
・危機管理総室が中心となり、各局のBCP策定・訓練・見直しを図り、各部署の危機管理に関する業務について、職務分掌においても明確化すること。

(2) 情報の収集・発信についての仕組みづくり

・災害時総合情報サイトの早期完成を図り、市民への周知と共に、災害時協定を結んでいる組織や、民間の支援団体なども含め情報共有・情報活用方法について進めること
静岡市型「災害時総合情報サイト」



(3) 関係団体との連携体制強化

・地域などとの連携も含め、行政として防災訓練メニューの作成に取り組むこと
・災害ボランティアセンターの運営に関わる人材確保及びボランティア団体のネットワーク化

(4) 避難所について

・平時において避難所の運営体制を確立し、初動から災害フェーズに沿った事前想定を行い、市・住民・支援団体等の役割分担を明確化し、避難所ごとの運営マニュアルを100%策定すること



子ども・教育



(1) 子育て支援の充実

- 認定外保育所等についても第2子無料化を行うなど、多子世帯への優遇措置の拡大を進めること

(2) 小中学校関連施設の整備促進

- 校内敷地全域に対応するwi-fi環境を整備すること
- 清水区の給食センター設置に向け、各学校の受入やアクセス等について十分検討を行うこと

(3) 教職員の多忙な勤務解消等への対応

- スクール・サポート・スタッフの全校配置継続および配置時間拡大を図ること
- 現場のニーズを踏まえたICT支援員の配置の継続

(4) 教育の質の向上

- 教員欠員の解消（欠員補充のための人材バンク充実など代替教員確保体制の確立を図ること）
- 「シズカツ」への移行に向けた課題解決を図ること

(5) 発達障害早期支援事業の推進

- より多くの子どもの早期発見・早期介入につなげるため、「あそびのひろば」と「ぱすてるひろば」の受け入れ人数の拡大を図ること

商工・物流



(1) 燃料・その他資材等価格高騰対策

- 商工分野における、燃料や資材、光熱費などの価格高騰への対策として、経費の助成の継続を図ること

(2) 市内就職、キャリア教育、キャリアアップ支援

- 若者の就職実態等の調査結果を活用し、UIターン就職増加に繋がる施策を実施すること

(3) 静岡の強みである「ものづくり産業」の振興

- 「静岡市ものづくり産業振興条例」に基づいた、基本計画の取組を推進すること

(4) 中小企業支援の充実

- 「静岡市中小企業・小規模企業振興条例」に基づき実施される、意見聴取の会議体で挙げられた事項について具現化を推進すること
- 地域産業活性化策を主目的とする多目的デジタル地域通貨の導入について、地域ポイントとしての活用も含めて、局間連携で検討すること

(5) 企業誘致・留置対策

- 高速道路IC周辺や国道1号バイパス沿線等を活用した新たな企業立地用地の創出
- 企業立地用地に関する助成事業を推進すること

(6) 静岡連携BCP行動指針の策定

- 危機に対して、行政・企業・商工会議所などと連携し、復旧・復興のベースとなる雇用と経済活動を対象とした、静岡連携BCP行動指針の策定を推進すること

文化・スポーツ



(1) 新サッカースタジアムについて

- 目指す都市像にも合致した、新スタジアムの有すべき機能を明らかにし、その実現に向けた取組を推進すること（365日人が集まる、スタジアムを中心としたまちづくりの検討）

(2) 東静岡駅北口アリーナ整備

- 渋滞や騒音対策、災害時の役割など、市民への理解を得られる対応を図ること

(3) 庵原球場の整備

- 交通量の変化に合わせて、主要のアクセス道路となる清水富士宮線だけでなく、周辺道路の整備についても合わせて進めること。

(4) ホームタウンチームに触れる機会の創出

- サッカー、バスケットボール、卓球、野球などホームタウンチームが増えている中で、試合観戦や選手との交流などホームタウンチームに触れる機会の創出について検討を進めること

観光・交流



(1) 地域の特色を生かした観光戦略の構築と回遊性の向上

- 拠点内や拠点間の移動手段の構築による利便性向上や移動の楽しみの創出と、それらの情報を手軽に収集できるアプリなど、観光MaaSの早期実装を推進すること

(2) 観光客の誘致

- 中部5市2町に加え、東部地区の富士市、富士宮市や伊豆地区など全方位的な連携の推進と、中部横断自動車道沿線の市町への積極的な観光誘致活動を推進すること

その他の分野

(1) 脱炭素社会への取組強化

- 今後建設する公共施設のZEB化に向けて、現状の方針「ZEB Ready（省エネで50%以下まで削減）」以上から、創エネも含めた「Nearly ZEB（省エネ+創エネで25%以下まで削減）」以上を目指すことと

(2) 各まちづくりブランドデザインの推進

- 「清水みなとまちづくりブランドデザイン」の各リーディングプロジェクトの実現に向けた着実な推進
- 「葵歴史のまちづくりブランドデザイン」「駿河まなびのまちづくりブランドデザイン」の具現化に向け実施計画を策定し、積極的に推進すること

庵原球場を「プロ仕様」に改修します



来季からプロ野球2軍ウエスタンリーグへ新規参加する「ハヤテ223（ふじさん）」の本拠地となる清水庵原球場を、ハイレベルなプレーに対応できる「プロ仕様」を目指し、防球ネットを高くするなどの緊急改修を行います。

庵原球場は平成17年にオープンし、1万人収容できますが、日本野球機構（NPB）からの施設改修の助言により改修することとなりました。

事業費3,000万円のうち、2,550万円は「スポーツ振興に使ってほしい」という希望で寄付された企業版ふるさと納税が活用されます。今後は、ナイター試合の開催に向け、照明のLED化も検討していきます。

【実施期間】令和5年12月～令和6年3月

プレミアム付デジタル商品券が発行されます

物価高騰が市民生活に大きな影響を与えているため、市内飲食店や小売店等で利用できるプレミアム付デジタル商品券が発行されます。

【販売額】1口6,250円分の商品券を5,000円で販売（プレミアム率25%）

【発行方法】スマートフォン等のアプリで商品券を発行

【購入上限】1人4口まで（購入希望多数の場合は抽選）

【利用時期】令和6年5月下旬～10月末まで（予定）



「令和6年能登半島地震」に対する緊急申入れ

令和6年元日に発生した石川県能登半島地方を震源とする地震により、石川県、新潟県、富山県、福井県の4県を中心に各地で激しい揺れや津波が発生し、甚大な人的・物的被害が発生しました。被災された皆様にお悔やみ、お見舞いを申し上げますと同時に、一日も早く心安らぐ生活に戻られる事を願わずにはられません。

被災地に対して各地から支援の手が入っており、本市においても、発災直後から支援部隊が編制され多くの職員が被災地に入り、救助活動や給水支援など様々な支援活動を行っています。早期復旧に向け、今後も更なる支援を全市挙げて実行していく必要があります。また、南海トラフ地震が想定されている本市においては、地域や関係団体、他都市との連携をより強化し、減災に努めていかなければなりません。

志政会は1月9日、速やかな支援活動に繋げるとともに、更なる本市の防災力強化のため、難波市長に申入れを行いました。

